

社会資本総合整備計画

事後評価書

計画の名称	都市部におけるストック効果を高める基盤整備による持続可能なまちづくりの推進														
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	群馬県,藤岡市,高崎市,前橋市														
計画の目標	都市部において、ストック効果を高めるために鉄道駅やインターチェンジへのアクセス強化や、市役所、公園、教育機関など、都市機能を担う施設周辺の歩道を整備し、市街地の回遊性を向上させ、持続可能な魅力あるまちづくりを行う。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		13,252	A	13,252	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	道路整備により、アクセス機能が向上したインターチェンジ、鉄道駅等への所要時間の短縮。 道路整備により、アクセス性が向上したインターチェンジや鉄道駅等への所要時間を5%短縮させる。 $\Sigma \{ ((\text{整備前の7ㄆㄌ時間} - \text{整備後7ㄆㄌ時間}) / (\text{整備前の7ㄆㄌ時間}))) \times 100 \}$ （単位：パーセント）	0%	%	5%
2	-			
	-	0-	-	0-

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	群馬県	直接	群馬県	S街路	改築	（都）高崎前橋線（15-A1 ）	現道拡幅 L=0.7km	高崎市	■	■	■	■	■	3,100	3.7	－
	A01-002	街路	一般	群馬県	直接	群馬県	S街路	改築	（都）赤城山線（15-A2）	現道拡幅 L=1.2km	前橋市	■	■	■	■	■	3,692	2.1	－
	A01-003	街路	一般	藤岡市	直接	藤岡市	S街路	改築	（都）藤岡インターチェ ンジ北口線（15-A3）	バイパス L=0.5km	藤岡市	■	■	■	■	■	1,450		－
	A01-004	街路	一般	高崎市	直接	高崎市	S街路	改築	（都）高前幹線（15-A4）	バイパス L=0.5km	高崎市	■	■	■	■	■	3,100		－
	A01-005	街路	一般	群馬県	直接	群馬県	S街路	改築	（都）吉井北通り線（15- A5）	バイパス L=1.7km	高崎市	■					100		－
											小計						11,442		
市街地整備事業	A13-006	都市交通	一般	前橋市	直接	前橋市	－	－	中央前橋駅ロータリ整備 事業（15-A6）	計画策定2190㎡	前橋市	■					10		－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											小計						10		
道路事業	A01-007	街路	一般	藤岡市	直接	藤岡市	S街路	新設	（都）北部環状線（15-A7 ）	道路新設 L=0.5km	藤岡市			■			1,800		－
											小計						1,800		
											合計						13,252		
	A01-																		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業策定所管課において評価を実施	整備計画の交付期間の最終年度に予定しているすべての要素事業が完了後に実施
	公表の方法
	群馬県ホームページにおいて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	(都) 北部環状線のバイパス整備が完成したことで、都市部からインターチェンジ等の交通拠点へのアクセス性が向上し、所要時間が現況と比較し、4%短縮された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	道路整備と合わせ、歩道整備を行うことで、歩行通行空間の安全性が確保された。
○特記事項（今後の方針等）	
未完成の事業については、本計画完了後も引き続き、社会資本整備総合交付金等を活用し、計画的に事業を推進する。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			計画策定時に予定されていた（都）赤城山線 外4路線について、用地交渉の難航等で時間を要し、計画期間内の事業完成に至らなかったため。
	最 終 目標値	5%	
	最 終 実績値	4%	
2			
	最 終 目標値	0-	
	最 終 実績値	0-	

(参考図面) 社会資本総合整備計画

